



インターハイに出場して

私は、冬の期間のみスキー部に所属して活動しています。極めて少ない練習量の中、インターハイに向けて自主的な練習など、日々の練習に取り組んで来ました。今回インターハイに参加して、全国の選手の技術や覚悟の違いを実感しました。他の選手との練習量の違いや競技前の雰囲気を感じ取れたことは非常に良い経験をしたと感じました。これからの自分の人生に、この経験を生かして精進していきたいと思えます。(1年5組 森 悠人 鳴子中学校出身)



東北大会に出場して



私たち剣道部は、11月12日～14日に行われた宮城県高等学校新人剣道大会において、宿命のライバル(と一方的に思っている)第3シードの仙台大学明成高校に勝利し、東北選抜大会への出場権を勝ち取ることができました。東北大会出場は、私たちの大きな目標の一つだったので、とても達成感がありました。監督の浩文先生は、ハトが豆鉄砲を食らったかのような顔で驚いており、私たちに少し失礼でした。東北選抜大会はコロナ禍で開催が危ぶまれる中、2月13日に青森市で無事開催されました。試合は、予選リーグにおいて青森北高校に僅差で敗れ、福島1位の磐城桜が丘高校には完全に力の差を見せつけられて、予選敗退となりました。東北大会という大きな舞台で勝つことはできませんでしたが、各県を代表する強い選手と剣を交えることができ、よい経験となるとともに、新たな課題を見つけることができました。今後も通常通り部活動ができるか不安もありますが、課題を克服しつつ最大の目標である県総体での入賞に向けて、男女ともに頑張っていきたいと思えます。(2年6組 岩渕健生 若柳中学校出身)

令和3年度「いじめ根絶キャンペーン」キャッチフレーズ優秀作品

「ノリだけで その子の人生 変えないで」

このたび、このような賞に選ばれて大変嬉しく思います。この頃、いわゆる「ノリ」や「いじり」と「いじめ」の境界線が曖昧となっていることが大きな問題ではないかと思ひ、それを強く意識できるようなキャッチフレーズを作りたいと考えできたものです。このキャッチフレーズが少しでもいじめ根絶の助けになればと願っています。(2年5組 坂下 隼 古川中学校出身)

令和2年度 宮城県合唱アンサンブルコンテスト金賞受賞!

今年はコロナの影響で学校のスタートが遅れたことに加え、コンテストの時期が1ヶ月早まり、曲を仕上げるまでの過程でとても焦りを感じていました。しかも、合唱という活動そのものが制限されている中、マスクを着けたままの練習で口が動かさず呼吸も苦しいなかでしたが、基礎基本を大切に練習に打ち込み、今年度も金賞を受賞できたことはとても大きな自信につながりました。現在、2年生4名、1年生8名で活動しています。学年に関係なく仲の良いことが私たちの強みです。次年度も、合唱部はさらに高いところを目指してこれからも頑張ります!



(部長2年2組 山田美玖 古川中学校出身)

第1回共通テストを受験して…3年生より1, 2年生に向けて

1月16日(土)、17日(日)に、3年生は今年度から始まった大学入学共通テストを受験しました。最初のことで、色々困惑することも多かったようです。今回1, 2年生のためにということで、その感想を書いてくれましたので、以下に何人か紹介します。本来ならばそのまま掲載すべきところですが、誌面の都合もあり、編集者の責任において一部に文章の省略や表現の調整、変更をしています。

1 文 系

コロナウィルスの影響で長い休みがありましたが、この間に自分の生活などを見直し、勉強のやり方を調

べ、自分のスタイルを作ることができました。そしてそれを約9ヵ月間継続し、先日1回目の本番の共通テストを迎えました。しかしながら振り返ると、この9ヵ月はすべて完璧ではなく、生活習慣の乱れ、模試の不出来による自信喪失などもありました。それでも「最低でもこれだけは行う」というラインは堅持できました。ですから1, 2年生の皆さんには「続けること」、「自分をしっかり見ること」などの大切さを伝えたいと思います。また勉強のテクニックに関しては色々な情報が氾濫していますが、自分のオリジナルのスタイルを確立することを勧めます。それらは楽しさと効率につながりますので、速やかに取り組んでください。教科の感想としては、国語は文章が多く、全体的に時間が不足しました。数学は難しくはありませんでしたが、解けるところを選んで、解けないところをとばす勇気を持つのが肝要だと思いました。継続と集中を心がけてください。(3年1組 男子)

共通テスト本番では模試や予想問題とは異なるものも多く、戸惑いもありましたが、それでも事前に問題演習を数多くこなしたことは有効でした。教科の感想としては、古文とリスニングは、少し難しかったようです。古文では文法や和歌の読み手の心情が理解できず、配点の高い問題を外してしまいました。リスニングの後半では「状況と問いを読むための時間」が思ったよりも短く、事前練習を生かせませんでした。逆に学習時よりもよかったのが、リーディングと倫理です。リーディングは問いを先に見て、問題文を後から見ることで、時間の節約につながりました。倫理は問題文や資料を注意深く読み、自分の持っている知識と合わせて解けば、かなりの高得点が狙えると思いました。ただし教科書には出ていない哲学者も何人か出題されましたので、資料集をもっと読み込んでおくべきだと思いました。今後は私大の一般入試、共通テスト利用型入試を受験するので、気持ちの切り替えに留意して、更に精一杯頑張りたいと思います。(3年3組 女子)

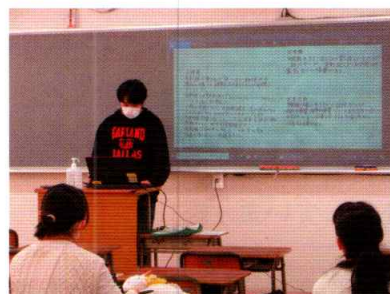


2 理 系

共通テストは試行テストと本番の問題にかなりずれがありました。国語の問題文が複数かどうか、数学は会話文、リスニングでは大問ごとの性質の違いなどです。だから予想問題集が有効でない部分も多くありました。そういう中でも常に大切なのは「正答率が高いであろう問題は落とさない」ことです。だから計算ミスなどは絶対にいけません。1, 2年の皆さんは週末課題を時間を計って、早く解けるようにすることを勧めます。次に「7割越えを狙うためには標準問題を正答する」ことです。7割は国公立大学に入るためには不可欠なラインです。問題集との関連としては、実際に受験してみた感想ですが、物理ならば★レベル、化学は化学セミナーの発展例題・問題レベルなどが該当すると感じました。本校のような地方の公立校は、都市部の進学校や私立校と比較して、2次試験の力では後れをとります。しかし共通テストでは、やればやるだけ伸びるはずですよ。頑張ってください。(3年5組 男子)

初の共通テストで、事前の問題演習は十分にしていたものの、形式面での不安は大きいものがありました。初日は緊張が強く、凡ミスもありました。しかし2日目には会場の雰囲気にも慣れ、自分の実力を出せたような気がします。特にリーディングでは、反省するところが多かったように思います。問題演習で取り組んだものとは、形式も配点も違っていたため、多少の動揺もあり、演習の時よりも10点以上低くなったことが悔しい限りです。その後の科目で少なからず埋め合わせができたかもしれませんが、演習の量も質ももっと意識すべきだったと思います。また焦りをなるべくなくして、余裕を持てることも大切だと思いました。勘違いすることなく、丁寧に問題を解くことこそが、最も効率的です。これから先は今までの比ではないくらい努力して、最後まで粘っていきたいと思います。1, 2年の皆さんには「受験勉強の開始時期は、早ければ早いほどいい」という点を強調しておきます。まだまだ時間があると思わず、自分の実力を謙虚に、そしてなるべく正確に把握してください。(3年6組 女子)

総合的な探究の時間 報告会



本校の2学年では、総合的な探究の時間に自分の進路を見据えて、自分が興味ある事柄について課題を設け、その解決を目指して探究活動を行いました。探究の過程では、アンケートの実施やインタビューを行った生徒もおり、文献の調査にとどまらない、身近なところからの情報収集を心がけて取り組みました。そのまとめとして研究報告書を作成し、先日、報告会を実施しました。報告会当日は、各自聴衆が分かりやすいように発表し、質疑応答も活発に交わされました。今後は、探究したことを生かして進路の実現を目指します。